



心肺蘇生法の一部が変わりました!

より良い救命率を求めて、心肺蘇生法が変わりました。

早い段階から、十分な強さと十分な回数の胸骨圧迫が絶え間なく行われることが最も重要であるため、心肺蘇生法開始の判断と手順、人工呼吸の吹き込み時間、胸骨圧迫と人工呼吸の比率、AEDによる連続ショック数、ショック後の対応などが変更になりました。

なお、従来の心肺蘇生法を否定するものではありません。

心肺蘇生法の手順と変更点

意識を調べる



わかりますか？
どうしました？

誰か来てください！
あなたは119番通報して下さい。
あなたはAEDを持って来て下さい。

助けを呼ぶ (119番通報とAEDの手配)

呼吸を調べる
(普段どおりの息をしているか?)



気道の確保

変更点
気道確保は、外傷の有無に関わらず下顎挙上法ではなく、頭部後屈顎先挙上法で行う。

ポイント

気道の確保をしたまま、呼吸があるかどうか10秒以内に確認
見て！聞いて！感じて！

している

回復体位にして様子を見守る



していない

人工呼吸

変更点
胸が上がるのが見えるまで、1回約1秒かけて2回吹き込む

頭部後屈顎先挙上法とは
片方の手で額を押さえ、もう一方の人差し指と中指で顎を上を持ち上げる

変更点

胸骨圧迫30回+人工呼吸2回を繰り返す。

心臓マッサージ



ポイント

胸の真ん中
圧迫は強く(4~5cm程度沈むまで)
早く(約100回/分)
絶え間なく30回
圧迫解除は胸がしっかり戻るまで
両肘をまっすぐに伸ばし、垂直に

ショック1回実施



AED到着・装着

心電図自動解析
(電気ショックは必要か?)

必要なし

必要あり

その後直ちに心配蘇生法(30:2)を再開。5サイクル(2分間)

第57回茨城県消防ポンプ操法大会県北地区大会

10月1日、県北9市町村の代表による第57回茨城県消防ポンプ操法県北大会がおおみや消防広場(辰ノ口)において開催されました。

市の代表として出場した美和支団は、惜しくも優勝は逃がしたものの自動車ポンプの部、小型ポンプの部ともに準優勝を果たしました。

自動車ポンプの部

- 優勝 常陸太田市
- 準優勝 常陸大宮市 (美和支団)
- 第3位 那珂市



小型ポンプの部

- 優勝 常陸太田市
- 準優勝 常陸大宮市 (美和支団)
- 第3位 那珂市

